集まればもっと強くなる

TEAM、福祉力。

全国に広がる12,000名の在学生と
62,000名の卒業生が、
ひとつにつながり明日を変える。

Since 1953
日本福祉大学

広告特集
企画・制作
朝日新聞社広告局

日本の未来に福祉の力を——

かつて日本社会で豊かであった「人と人のつながり」。少子高齢化など様々な問題を抱える現代の日本において、それは福祉領域のみでなくあらゆる領域の課題解決のキーワードとなるのか。「TEAM、福祉力。」をテーマに日本福祉大学の学長・加藤幸雄氏、福祉事情に詳しいジャーナリスト・川名紀美氏、認知症になった南田洋子さんを介護した経験を本にも綴った俳優・長門裕之氏に、語っていただきました。

相手の視点で考え、支え合う福祉力がTEAM＝「つながり」によって強くなる。

日本福祉大学 学長 加藤幸雄氏

「ふくし※」の本質は、すべての人が幸せに生きられること。その中心にあるのは、「いのち」「くらし」「いきがい」です。「ふくし」は今や、社会福祉のみならず、あらゆる領域に広がっており、それを社会で支えていくことが求められています。

そんな中で日本福祉大学は今年、「TEAM、福祉力。」というコンセプトを打ち出しました。「TEAM」を「つながり」と訳すと、その意味がわかりやすいと思います。自殺、虐待、引きこもり…など、今、社会に蓄積する問題の大きなキーワードは孤立、孤独であり、その対極にあるのが「つながり」です。人は、誰かとつながった時の方が力を発揮することができ、本当の自立を促されます。そして「福祉力」は、相手の立場になって幸せを考え、支え合う力です。互いにそれができた時、一層の幸せが生まれます。

すなわち、相手の視点を大事にしながら支え合う福祉力が、つなぎ、つながれ、つながり合って、力を増していくというのが、この「TEAM、福祉力。」なのです。

日本福祉大学では、このコンセプトを理解する人材を育て、社会に送り出したいと考えています。そのために重視するのは、フィールドワークなどを通じた、体験とコミュニケーション。学生たちはそこから現実を直視する目や複眼的思考を身に付け、つながる力を開拓していきます。また、通信教育部では、さまざまな経歴の人が大学という学舎を通じて新たに出会い、つながることで、「異質の協力」の輪が広がっていきます。

少子高齢化などでサポートの必要性が高まる社会で、「TEAM、福祉力。」はますます不可欠なものになっていきます。

人と人のつながりが薄れた今だから、そこに意義があります。「ふくし」の総合大学として、歴史的にもメッセージを発信していく責務を担っており、今がまさにそれを実践する時期なのです。

※日本福祉大学では「福祉」を、その幅広さを表すために平仮名の「ふくし」と表現しています。

誰もが当事者。一人ひとりが「TEAM、福祉力。」の一員だという意識を。

元朝日新聞論説委員・日本福祉大学客員教授 川名紀美氏

地域にチームの力があったらこんな事件は起こらなかったのに、と思えるケースが少なくありません。ひとつの例が、2007年、大阪府堺市で病院職員が入院患者を連れだして公園に置き去りにした事件です。

患者さんは、糖尿病で全盲になった63歳の男性です。離婚後一人暮らしで、退院を拒み続けて7年あまり入院していました。他の患者さんとはトラブルが絶えず、入院費約185万円を滞納するなど、確かに問題は多かったようです。病院職員は困り果てた挙句に、公園に"捨てた"わけです。しかし患者さんにとっては失明による絶望、退院してどうやって生きていけばいいのかわからない不安から、病院にすがるほかなかったのでしょう。もし、医療者、自治体、福祉関係者らがチームを組んで退院後、地域で生活できる受け入れ体制を整えていたら、こんな悲しい事件は起こらなかったのではないでしょうか。

高齢化が進むこれからの社会には、援助が必要な人も、頼れる家族のいない単身者も増えていきます。地域では医療、自治体、福祉3者の緊密な連携がますます求められています。また、公的な援助だけでなく、身近で、ちょっとしたことを補い合える地域住民の協力、「住民力」も絶対に必要です。社会を構成する全ての人が福祉の視点を持ち、他の人に「共感」する力を育てていければと思います。一人ひとりが当事者であり、「TEAM、福祉力。」の一員である。その意識を持つことが大切です。

そして、よいチームになくてはならないのが医療、行政、福祉、住民をよりよい形で結び付けるコーディネーターの存在です。それぞれの力や得意分野を見抜いてネットワークをつくり、地域に合った支援のシステムを築いてマネージメントする専門家が必要です。

その役割を果たせるのは、大学で福祉の幅広い専門教育を受けた人材ではないでしょうか。

いま、大学には重い課題が課せられているのです。

望むのは、「愛」で支え、尊厳を守りながらフォローができるチーム体制。

俳優 長門裕之氏

僕は現役で仕事をしているし、役者の夫婦だし、老々介護の例といっても参考にならないかもしれない。それでも批判承知で自分たちのことをもっと知ってもらいたかったんだ。

僕しかできないこともたくさんあったけど、全て1人でできたわけじゃない。留守せざるを得ない時は、初めの頃はお手伝いさんに無理に頼んで、専門家を知ってからは、24時間体制でだいたい3人の方に交代で頼んでいました。でも、そうするとすごく高いんですよ。普通じゃとても無理だと思う。僕は知識不足もあって、介護保険の制度を利用しなかったけど、社会の力を借りなきゃならないケースが山とあるのが現実。人手不足や精神的ケアの問題もある。

そんな中、福祉をチーム体制でやっていこうっていうのは、多角的に捉えられるし、意義あることじゃないかな。

みんなに「がんばりすぎないで」と声をかけてもらって、感謝しているよ。でも、悲劇じゃなくて楽しかったんだ。難しいけど、きっと義務感でやるとダメなんだよね。「愛」なんですよね、根底にあるのは。それが、介護される側、する側の両者の支えになる。何もこれって介護だけじゃない、福祉全てに言えることじゃないかな。

大切なのは目線。見下ろさず、尊厳を傷つけない、痛みを共に感じること。洋子が僕の親父を介護した時、「お義父さん、介護するのって辛いのよ」「洋子さん、される方も辛いよ」と、痛みを共有できたらしい。だから親父は俺より洋子がよかったんだろうなぁ。

介護する人とされる人が、弱者と強者であっちゃいけないんだよね。

僕が洋子を軽々と持ち上げてやることができなかったように、体力的にできないこともある。そんな介護する家族の能力を見極め、でも彼らの愛とプライドは保ちながら、フォローするシステムの必要性を痛切に感じるよ。チームでやる大きな意味もそこにあるはず。また、そこに一体感を持てるか、それが重要でしょう。

福祉のチカラが、
これからの日本を支える。

2010年度出願受付中！

正科生：2010年3月31日まで（消印有効）
科目等履修生・特修生：2010年8月31日まで（消印有効）

入学説明会開催（予約不要）

北海道	2/20(土) 2/21(日)	東京	1/23(土) 2/7(日) 2/20(土)	神奈川	2/ 6(土)
千葉	2/13(土)	群馬	1/16(土)	宮城	1/30(土)
長野	1/30(土)	富山	1/16(土)	静岡	2/ 7(日)

その他のエリアでも入学説明会を開催中です。詳しくはHPをご覧ください。

インターネットシステム	スクーリング	取得可能資格（正科生）
24時間 いつでも学習。	全国24カ所で開催 週末中心の2日間完結型。	社会福祉士国家試験 全国大学No.1の実績 第21回合格者数 835名 通信課程：451名 通学課程：384名
インターネットで添削課題・科目修了試験の受験やスクーリング単位の取得が可能。	新たに富山でも開催 北海道 茨城 栃木 群馬 埼玉 千葉 東京 神奈川 石川 新潟 長野 岐阜 静岡 浜松 愛知 三重 大阪 兵庫 岡山 広島 香川 福岡 沖縄	NEW 社会福祉士法改正に対応 ○3年次編入学も新カリキュラムで学習できます。 ○実務経験により現場実習が免除されます。 取得可能な資格：社会福祉士国家試験受験資格／精神保健福祉士国家試験受験資格／AFP資格審査試験受験資格／障害者スポーツ指導員（初級）／社会福祉主事任用資格／大学卒業資格

■ 短期大学、専門学校、高等専門学校を卒業した方は3年次編入学が可能。他にも2年次、4年次編入制度があります。（各種資格取得も可能）
■ 取得している資格や検定合格を卒業単位として認定する単位認定制度。 ■ 志望理由書による入学審査のため入学試験はありません。
■ 本学園同窓会員、および同窓会員の推薦を受けた方を対象にした学費等の減免制度を設けています。 ■ 経済的に無駄のない単位制学費。5、6年かけて卒業する場合でも、学費負担を抑えられます。

Since 1953
日本福祉大学通信教育部
医療・福祉マネジメント学科
〒470-3295 愛知県知多郡美浜町奥田
日本福祉大学通信教育部事務室
TEL.0569-87-2932
FAX.0569-87-2308

無料資料請求
詳しい資料をお送りいたします。

TEL 資料請求専用電話【24時間受付】 050-2015-0555
資料受付番号 749524

WEB ホームページから www.nfu.ne.jp

携帯電話はこちらから http://nfu.seikyu.com